

## ■ グループ紹介

# 株式会社 大 気 社

## 1. 沿革

当社は1913年4月、ドイツ製建築材料および設備機械の輸入販売を目的として、初代社長上西威により「建材社」の社名で創立された。その後暖房工事を手がけ、さらに冷房を含む空調設備へ移行し米国キャリア社と技術提携（1929年）、わが国最初の空調技術を確立した。戦後、長年にわたって培われてきた空調・換気の設計技術を応用して塗装用のスプレーブース、熱風乾燥炉などを手がけるほか、自動車を主とする塗装プラントの建設にも進出することとなった。

1973年、創業60周年を機に広く人間と自然環境との調和を目指す当社の姿をイメージし、社名を「大気社」と改めて新たなスタートをきった。

ビル空調設備、産業空調設備、塗装プラントの設計・施工・製作を3本柱に、いずれの分野においても業界最先端の技術力と施工実績を誇り、世界各地に拠点をもちグローバルな活動を展開している。

## 2. 会社の概況

資本金	63億2,293万円	(1993年3月末現在)
従業員	1,390名	(1993年3月末現在)
売上高	1,437億円	(1992年3月決算期)
本社	東京都新宿区西新宿二丁目6番1号	
事業所	本店/東京 支社/大阪 支店/国内8店、海外2店 他営業所20ヶ所 海外拠点17ヶ所	
事業内容	空調設備（一般ビル・工場向）、給排水・衛生・消防設備、塗装プラント、電気設備等の設計・施工・製作が主業	

## 3. 研究開発

各分野において、顧客のニーズに対応した多彩な技術を提供するために、当社では下記3つの研究施設をおき、技術力の向上を図るとともに、企画・設計・施

工現場における技術のバックアップ、基礎技術・近未来技術の蓄積に努めている。

### (1)総合研究所（神奈川県愛川町、1991年開設）

研究棟、生産技術実験棟、音響実験棟を備える総合研究拠点。施工・生産技術を中心としたネック技術の解明、空調応用製品の開発・改良、自動制御システムやプロジェクト対応の実証実験、安全施設の検証、技術研修などを担当。

### (2)技術研究所（大阪府枚方市、1964年開設）

システムショールーム、実験棟、研究棟を備える技術研究の中心拠点。超成層型蓄熱層・スーパークリーンルーム・人工雪スキー場の開発など、豊富な実績に省エネルギー技術をベースとした、最先端テクノロジーを注ぎこんだ空調設備と制御システムの研究・開発を担当。また、大学や企業との共同による開かれた研究・開発の一層の進展を目指している。

### (3)座間技術センター（神奈川県座間市、1985年開設）

自動車用塗装実験施設。ショールーム、実験室、トレーニングルームを設置し、実際の生産ラインと同条件下での塗装実験が可能。

近年、空調分野においては、特にビル空調設備とクリーンルーム空調設備を主体とする産業設備空調を手がけている。「人間尊重のアメニティ空間創造」をテ



総合研究所

ーマにして、事務所を中心に学校、病院、研究所、ホテル、スポーツ施設、空港ターミナルと事業領域を拡大。蓄熱層システム、除湿空調システム、大空間空調・換気システム、精神安定・リフレッシュ効果の高い森林浴空調システム（ヘルシーエア）など最先端技術を駆使した実績は高い評価を得ている（施工例：東京ドーム、東京新都庁舎、けいはんな交流施設、関西新空港貨物ターミナル施設など）。また、産業空調分野でも超 LSI クリーンルームシステムや、バイオクリーンルームシステムの開発に精度の範囲を拡大している。さらに、塗装プラント分野では技術開発時代に不可欠な塗装ロボットなど、各種の技術開発に顧客とともに取り組み、要求される品質に合致した最新鋭の設備を供給している。

#### 4. 最後 に

当社は、“熱・空気・水”にかかわるトータルエンジニアリング会社として今年で創業80周年を迎えた。“音・振動”までも対象要素として地上のみならず、地中・海中そして宇宙へとその活動領域を広げている。国内・海外子会社12社、海外2支店をもち世界各地に進出、大気社グループの活動を広く展開中。積極的な技術開発・事業拡大を行うことで、人間文化の発展と地球環境の保全に役立ちたいと考えている。

所在地：〒163 東京都新宿区西新宿2-6-1  
新宿住友ビル12F

(文責：管理本部 総務部長 松本 一 宇)

協賛行事ごあんない

## 「炭酸ガス抑制と製鉄プロセスの未来」

### シンポジウム開催について

1. 主催 社団法人日本鉄鋼協会
2. 協賛 日本金属学会、日本エネルギー学会他
3. 日時 平成5年7月12日(月) 9:30~17:30
4. 東京大学 山上会館(文京区本郷7-3-1)
5. プログラム
  - I. 炭酸ガスをどうとらえるか
  - II. 炭酸ガス抑制対策
  - III. 製鉄プロセスの未来と技術開発
6. 懇親会 7月12日(日) 18:00~  
会費は、5,000円(当日受付)
7. テキスト(報告書) 別売り  
機関誌「鉄と鋼」新刊図書予約案内参照  
(5月号に掲載予定)
8. 参加者 先着100名  
(参加受付が否の際は、連絡する。)

#### ■ 申込み・問合せ先

〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階

社団法人日本鉄鋼協会 技術室 担当：磯部光利または林万紀子

TEL 03-3279-6021, FAX 03-3245-1355